



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月9日

上場取引所 東

上場会社名 レオン自動機株式会社
コード番号 6272 URL <https://www.rheon.com>代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 幹央
問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員管理本部長 (氏名) 福田 忠男 (TEL) 028-665-1111
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	27,191	2.8	3,428	62.6	3,522	60.4	2,841	54.6
2023年3月期第3四半期	26,447	34.3	2,108	87.3	2,196	68.6	1,838	47.2

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 3,669百万円(41.2%) 2023年3月期第3四半期 2,599百万円(78.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	105.91	105.72
2023年3月期第3四半期	68.58	68.41

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	43,405	34,024	78.3	1,265.47
2023年3月期	40,212	31,384	77.9	1,167.80

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 33,976百万円 2023年3月期 31,305百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	12.00	—	19.00	31.00
2024年3月期	—	20.00	—		
2024年3月期(予想)				20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,010	4.9	4,580	52.3	4,740	47.7	3,600	31.5	134.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	28,392,000株	2023年3月期	28,392,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	1,543,415株	2023年3月期	1,584,469株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	26,829,838株	2023年3月期3Q	26,807,305株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績予想の数値は、当社が現在入手している情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は、今後様々な要因によって、本業績予想の数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10
(収益認識関係)	12
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による制限の緩和に伴い、緩やかな回復が見られました。今後の日銀の金融政策変更の影響は不透明ではありますが、株価が上昇する等、景気回復が実感できるようになりました。海外経済におきましては、米国では良好な雇用情勢と賃金上昇により、個人消費が堅調に推移しておりますが、欧州ではインフレ率が低下し、景気持ち直しの兆しが見られるものの、ウクライナ情勢長期化や中東地域の紛争激化等を背景に経済は低調に推移しました。また、中国でも不動産不況が続き、経済成長率が低調に推移する等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが主要市場とする食品業界は、各種コストの上昇を吸収するための値上げが続き、実質賃金の減少による消費者の節約志向の高まりや人材確保の難しさ等から、経営環境は引き続き厳しい状況が続いております。そのような中、スーパー・コンビニ業界では、他社との差別化を図る商品開発や一層の省人化を目指した設備投資案件が引き続き堅調に推移しました。観光業界では、個人消費の持ち直しの動きや外国人観光客の増加により需要回復の動きが見られ、それに合わせて設備投資案件も回復してきました。

当社グループは、2032年度までの長期10年ビジョンを『レオロジー（流動学）技術で美味しさを求めつづける』と定め、食品の美味しさを追求することで多くの人に楽しんでもらい、その上で「スマートファクトリー」を実現する食品製造機械を提供していくことといたしました。その中で、5ヶ年（2023年度～2027年度）の新中期経営計画を策定し、①成長基盤の強化、②利益基盤の強化、③経営基盤の強化に取り組み、新型コロナウイルス感染症やロシアのウクライナ侵攻を機に顕在化した社会課題を解決し、更なる企業成長のための足場固めを行う取り組みをスタートしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は27,191百万円（前年同四半期比2.8%増）、営業利益は3,428百万円（前年同四半期比62.6%増）、経常利益は3,522百万円（前年同四半期比60.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,841百万円（前年同四半期比54.6%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、セグメント別の売上高は、連結相殺消去後の数値を、セグメント利益は、連結相殺消去前での販売費及び一般管理費から本社一般管理費を除いた数値を記載しております。

食品加工機械製造販売事業（日本）

日本国内では、食品成形機、修理その他の売上は増加しましたが、製パンライン等、仕入商品の売上が減少しました。

その結果、外部顧客に対する売上高は8,246百万円（前年同四半期比3.4%減）となりました。

セグメント利益（営業利益）は3,261百万円（前年同四半期比24.8%増）となりました。

食品加工機械製造販売事業（北米・南米）

アメリカ地域では、修理その他の売上は増加しましたが、食品成形機、製パンライン等の売上が減少したため、現地通貨ベースでは、前年同四半期比6.1%減少となりました。

円ベースでは、円換算に使用するUSドルの期中平均レートが136円51銭から143円29銭と5.0%の円安の影響もあり、外部顧客に対する売上高は2,723百万円（前年同四半期比1.4%減）となりました。

セグメント利益（営業利益）は前期行われた大型展示会の関連費用分が減少したことにより184百万円（前年同四半期比102.5%増）となりました。

食品加工機械製造販売事業（ヨーロッパ）

ヨーロッパ地域では、食品成形機の売上は減少しましたが、製パンライン等、修理その他の売上が増加したため、現地通貨ベースでは、前年同四半期比15.5%増加となりました。

円ベースでは、円換算に使用するユーロの期中平均レートが140円59銭から155円29銭と10.5%の円安の影響もあり、外部顧客に対する売上高は3,352百万円（前年同四半期比27.5%増）となりました。

セグメント利益（営業利益）は大型展示会への出展など、広告宣伝費が増加したことにより227百万円（前年同四半期比21.9%減）となりました。

食品加工機械製造販売事業（アジア）

アジア地域では、修理その他の売上は増加しましたが、食品成形機、製パンライン等の売上が減少しました。

主な要因は、中国での販売が減少したことなどがあげられます。

その結果、外部顧客に対する売上高は1,568百万円（前年同四半期比28.0%減）となりました。

セグメント利益（営業利益）は展示会への出展など、広告宣伝費が増加したことにより378百万円（前年同四半期比41.5%減）となりました。

食品製造販売事業（北米・南米）

アメリカ地域では、オレンジベーカリーの売上高が現地通貨ベースでは、前年同四半期比4.6%増加となりました。

主な要因は、パイ製品の売上が増加したことや、昨年下半年に行った販売価格の見直しなどがあげられます。

円ベースでは、円換算に使用するUSドルの期中平均レートが136円51銭から143円29銭と5.0%の円安の影響もあり、外部顧客に対する売上高は10,931百万円（前年同四半期比9.8%増）となりました。

セグメント利益（営業利益）は販売価格の見直しを行ったことや原材料費や荷造運搬費が減少したことにより1,305百万円（前年同四半期比719.0%増）となりました。

食品製造販売事業（日本）

日本国内では、(有)ホシノ天然酵母パン種の外部顧客に対する売上高は368百万円（前年同四半期比4.3%減）となりました。

主な要因は、夏季猛暑のなかで、パン需要が減少したことなどがあげられます。

セグメント利益（営業利益）は原材料費の増加などにより30百万円（前年同四半期比10.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて2,432百万円増加し、25,096百万円となりました。これは、現金及び預金が669百万円増加、受取手形及び売掛金が451百万円増加、商品及び製品が821百万円増加、仕掛品が350百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて760百万円増加し、18,308百万円となりました。これは、前連結会計年度末と比較し、円換算に使用するUSドルの期末日レートが133円53銭から141円83銭、ユーロの期末日レートが145円72銭から157円12銭と大きく円安に推移したため、有形固定資産が426百万円増加したことや、投資有価証券の時価評価額の増加など、投資その他の資産が275百万円増加したことなどによります。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて3,192百万円増加し、43,405百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて758百万円増加し、7,707百万円となりました。これは、短期借入金が210百万円増加、前受金が630百万円増加、未払法人税等が177百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて205百万円減少し、1,673百万円となりました。これは、長期借入金が153百万円減少、繰延税金負債が54百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて553百万円増加し、9,381百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて2,639百万円増加し、34,024百万円となりました。これは、利益剰余金が1,795百万円増加、その他有価証券評価差額金が195百万円増加、為替換算調整勘定が614百万円増加したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の売上高は概ね修正後の業績予想通りに推移しております。2023年11月10日発表の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,440,477	12,109,938
受取手形及び売掛金	3,234,012	3,685,414
商品及び製品	5,339,139	6,160,446
仕掛品	1,632,710	1,983,275
原材料及び貯蔵品	401,263	430,810
その他	637,868	756,660
貸倒引当金	△21,490	△29,866
流動資産合計	22,663,980	25,096,679
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	16,073,737	16,435,647
減価償却累計額	△8,720,808	△9,133,308
建物及び構築物（純額）	7,352,928	7,302,339
機械装置及び運搬具	9,366,488	10,073,150
減価償却累計額	△7,855,260	△8,570,398
機械装置及び運搬具（純額）	1,511,228	1,502,752
工具、器具及び備品	2,031,752	2,082,530
減価償却累計額	△1,874,688	△1,879,881
工具、器具及び備品（純額）	157,064	202,649
土地	3,976,623	4,030,861
リース資産	8,741	14,171
減価償却累計額	△2,331	△4,385
リース資産（純額）	6,410	9,786
建設仮勘定	482,361	864,706
有形固定資産合計	13,486,616	13,913,095
無形固定資産	1,176,670	1,234,495
投資その他の資産		
投資有価証券	1,241,474	1,498,480
退職給付に係る資産	1,350,370	1,401,726
その他	297,672	269,821
貸倒引当金	△4,109	△8,779
投資その他の資産合計	2,885,407	3,161,249
固定資産合計	17,548,694	18,308,840
資産合計	40,212,675	43,405,519

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,195,475	1,368,591
短期借入金	794,722	1,004,722
リース債務	1,999	3,093
未払費用	610,501	650,100
未払法人税等	381,540	204,512
前受金	2,295,474	2,926,446
賞与引当金	762,834	373,063
役員賞与引当金	16,800	21,970
未払金	683,952	885,853
その他	205,561	269,506
流動負債合計	6,948,863	7,707,861
固定負債		
長期借入金	1,138,204	984,662
リース債務	5,051	7,720
繰延税金負債	341,304	286,828
再評価に係る繰延税金負債	347,009	347,009
資産除去債務	36,294	36,321
その他	11,158	11,055
固定負債合計	1,879,023	1,673,597
負債合計	8,827,886	9,381,459
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,351,750	7,351,750
資本剰余金	7,078,397	7,105,902
利益剰余金	17,780,924	19,576,171
自己株式	△770,280	△750,802
株主資本合計	31,440,791	33,283,021
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	544,701	740,500
土地再評価差額金	△1,692,816	△1,692,816
為替換算調整勘定	943,612	1,558,332
退職給付に係る調整累計額	69,528	87,110
その他の包括利益累計額合計	△134,974	693,126
新株予約権	78,971	47,911
純資産合計	31,384,788	34,024,060
負債純資産合計	40,212,675	43,405,519

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)
売上高	26,447,524	27,191,365
売上原価	15,731,701	14,878,229
売上総利益	10,715,822	12,313,135
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	253,388	286,902
荷造運搬費	1,611,939	1,237,319
貸倒引当金繰入額	△861	9,456
販売手数料	642,080	679,749
給料及び手当	2,607,428	2,757,537
賞与引当金繰入額	204,663	212,652
役員賞与引当金繰入額	12,600	21,970
退職給付費用	112,406	114,139
旅費及び交通費	306,532	378,509
減価償却費	401,574	420,916
研究開発費	529,309	544,447
その他	1,925,881	2,221,039
販売費及び一般管理費合計	8,606,942	8,884,641
営業利益	2,108,879	3,428,494
営業外収益		
受取利息	4,718	13,990
受取配当金	21,064	26,065
物品売却益	14,593	12,000
為替差益	4,907	13,098
保険解約返戻金	2,459	5,171
電力販売収益	17,199	16,851
その他	46,923	39,398
営業外収益合計	111,864	126,576
営業外費用		
支払利息	9,757	8,536
電力販売費用	6,547	6,192
固定資産除却損	1,853	15,606
その他	6,054	2,071
営業外費用合計	24,213	32,406
経常利益	2,196,530	3,522,663
税金等調整前四半期純利益	2,196,530	3,522,663
法人税、住民税及び事業税	352,577	796,339
法人税等調整額	5,571	△115,240
法人税等合計	358,149	681,099
四半期純利益	1,838,381	2,841,564
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,838,381	2,841,564

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	1,838,381	2,841,564
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	145,094	195,799
為替換算調整勘定	595,824	614,719
退職給付に係る調整額	19,719	17,581
その他の包括利益合計	760,638	828,100
四半期包括利益	2,599,020	3,669,665
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,599,020	3,669,665

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り

新型コロナウイルス感染症の影響については、2023年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に変更され、経済活動は正常化に向かい感染症の影響は徐々に収束していくことが想定されますが、世界的な収束時期や影響範囲に関しては依然として不透明な状況にあります。

当社グループでは、感染症の影響は今後も一定期間続くものの徐々に改善していくとの仮定のもと、繰延税金資産の回収可能性の判断及び固定資産の減損損失計上要否等の会計上の見積りを行っております。

なお、前連結会計年度の有価証券報告書に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期やその後の経済状況の回復に関する仮定について重要な変更はありませんが、この仮定は不確実性を伴うため、仮定に変化が生じた場合には、将来における当社グループの経営成績及び財政状態に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	食品加工機械製造販売事業				
	日本	北米・南米	ヨーロッパ	アジア	小計
売上高					
(1)外部顧客への売上高	8,539,304	2,763,508	2,628,524	2,178,807	16,110,145
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,754,115	116,703	—	—	3,870,818
計	12,293,420	2,880,211	2,628,524	2,178,807	19,980,963
セグメント利益	2,613,878	91,204	291,887	647,043	3,644,014

	食品製造販売事業			合計
	北米・南米	日本	小計	
売上高				
(1)外部顧客への売上高	9,952,581	384,797	10,337,378	26,447,524
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	52	52	3,870,870
計	9,952,581	384,849	10,337,431	30,318,394
セグメント利益	159,373	34,619	193,993	3,838,007

(注) 各区分に属する主な国又は地域

- (1) 北米・南米……………アメリカ合衆国、カナダ、メキシコ
- (2) ヨーロッパ……………ドイツ、フランス、ルーマニア、エジプト、イタリア、オーストリア
- (3) アジア……………中国、韓国、台湾、ベトナム

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	3,838,007
セグメント間取引消去	△300,924
本社一般管理費(注)	△1,428,203
四半期連結損益計算書の営業利益	2,108,879

(注) 本社一般管理費は、当社の管理部門に係る費用であります。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	食品加工機械製造販売事業				
	日本	北米・南米	ヨーロッパ	アジア	小計
売上高					
(1)外部顧客への売上高	8,246,600	2,723,727	3,352,461	1,568,487	15,891,276
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,389,849	48,749	—	—	4,438,598
計	12,636,450	2,772,477	3,352,461	1,568,487	20,329,875
セグメント利益	3,261,319	184,710	227,897	378,457	4,052,384

	食品製造販売事業			合計
	北米・南米	日本	小計	
売上高				
(1)外部顧客への売上高	10,931,679	368,408	11,300,088	27,191,365
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	24	24	4,438,623
計	10,931,679	368,433	11,300,113	31,629,988
セグメント利益	1,305,350	30,887	1,336,237	5,388,622

(注) 各区分に属する主な国又は地域

- (1) 北米・南米……………アメリカ合衆国、カナダ
- (2) ヨーロッパ……………ドイツ、スペイン、サウジアラビア、トルコ、イギリス
- (3) アジア……………台湾、中国、韓国、タイ、シンガポール

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	5,388,622
セグメント間取引消去	△364,064
本社一般管理費（注）	△1,596,063
四半期連結損益計算書の営業利益	3,428,494

(注) 本社一般管理費は、当社の管理部門に係る費用であります。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	食品加工機械製造販売事業	食品製造販売事業	
食品成形機	5,405,825	—	5,405,825
製パンライン等	6,507,067	—	6,507,067
修理その他	3,787,421	—	3,787,421
仕入商品	363,293	—	363,293
その他	46,539	—	46,539
食品等	—	10,337,378	10,337,378
顧客との契約から生じる収益	16,110,145	10,337,378	26,447,524
外部顧客への売上高	16,110,145	10,337,378	26,447,524

当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	食品加工機械製造販売事業	食品製造販売事業	
食品成形機	4,980,695	—	4,980,695
製パンライン等	6,163,635	—	6,163,635
修理その他	4,351,125	—	4,351,125
仕入商品	339,645	—	339,645
その他	56,176	—	56,176
食品等	—	11,300,088	11,300,088
顧客との契約から生じる収益	15,891,276	11,300,088	27,191,365
外部顧客への売上高	15,891,276	11,300,088	27,191,365

(重要な後発事象)

該当事項はありません。